

# さらなる飛躍へ

## 新年のご挨拶



### 誇りと賑わいのある島づくり

佐渡市長 高野 宏一郎

平成24年の年頭にあたり、市民の皆様  
に謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震  
災は記憶に新しく、被災された方々に  
改めて心よりお見舞い申し上げますと  
ともに、一日も早い復興をお祈り申し  
上げます。

市としましては今回の震災を教訓  
に、今後、防災情報システムの整備な  
ど津波対策を主に災害対策を講じてい  
くとともに、原発対策としては国・県  
の動向を見極めながら離島の特殊性を  
考慮し、市全体で万全の防護態勢をと  
るべきであると考えています。

また、昨年3年ぶりに佐渡―新潟航  
空路線が再開されましたが、今回のよ  
うな大規模災害の際には大型機が乗り  
入れられる空港が島民の安全・安心の  
ため必要であることを改めて実感し、  
滑走路2千メートル化の早期実現に向  
けて全力で取り組んでまいります。

さて、昨年、佐渡市はジラス（GI  
AHS・世界農業遺産）に日本で初め  
て認定されました。「朱鷺と暮らす郷  
づくり認証米」に代表される人と多様  
な生きものが共生する農業システムの  
ほか、棚田等水田の美しい景観、鬼太  
鼓や能舞台のように集落を守る仕組み  
など、伝統を守り続けてきた島民の歴  
史的な活動や生活が後世に残すべきも  
のとして高く評価されました。この生  
物多様性保全に加え、自然循環エネル  
ギー開発や省エネ対策、ごみ減量化な  
ど、低炭素社会づくりに積極的に取り

組みエコアイランド実現に向けて努力  
いたします。また、この榮譽をさらな  
るステップに、今まで推進してきた佐  
渡のブランド力を一層磨き上げること  
により佐渡産品の付加価値向上を図り  
ます。

佐渡のこれからの地域活性化は、地  
域にある「宝物」を再認識し活用して  
いくことが重要です。町並み保存や能  
舞台の活用、伝統芸能活動を活性化す  
る動きが市内各地で見られるようにな  
り、市でも支援をしています。これら  
はコミュニティの維持が図られるとと  
もに、大学や郷土会をはじめとする都  
市との交流発展に大きな期待が寄せら  
れているところです。

離島と本土との大きな格差を是正  
し、島民生活の安全・向上を図ること  
を目的とした「離島振興法」が平成24  
年度末で期限切れとなります。離島が  
有する国家的・国民的役割を踏まえ  
て、離島の生活を安定させる抜本的な  
定住促進など、新たな振興策が次期振  
興法に盛り込まれるよう法律制定に向  
け最大限努力をいたします。

いずれにしましても、郷土の宝物に  
さらに磨きをかけ、誇りと賑わいのあ  
る島づくりを市民の皆様との協働のも  
と取り組む所存でございますので、よ  
り一層のご理解とご協力をお願い申し  
上げます。今年一年が皆様にとって健  
康で希望の持てる良い年となりますよ  
う心から祈念して、新年のご挨拶とい  
たします。